

デジタル時代における 学修コンテンツの作成と提供

千葉大学アカデミック・リンク・シンポジウム
「つながる学び：アカデミック・リンクのこれまでとこれから」

2014年12月22日

田村俊作

(慶應義塾大学文学部)

望ましい学修のすがた

- 授業
+
- 自主学習

そのために望ましい情報資源(コンテンツ)は？

学修用コンテンツとその利用

授業

教材

テキストブック

自主学習

参考書・関連情報源

学修用コンテンツの特徴

教材

マルチメディア
授業に合わせた既存テキストの分解と再編集

テキストブック

首尾一貫した議論
内容の更新が課題

参考書・関連情報源

多彩な関連情報
(単行書・論文の場合)首尾一貫した議論

学修用コンテンツの作成と提供

授業のスケジュールに合わせた
タイムリーな作成と提供
同一プラットフォーム上での提供

教材

テキストブック

首尾一貫した著述
適宜のアップデート

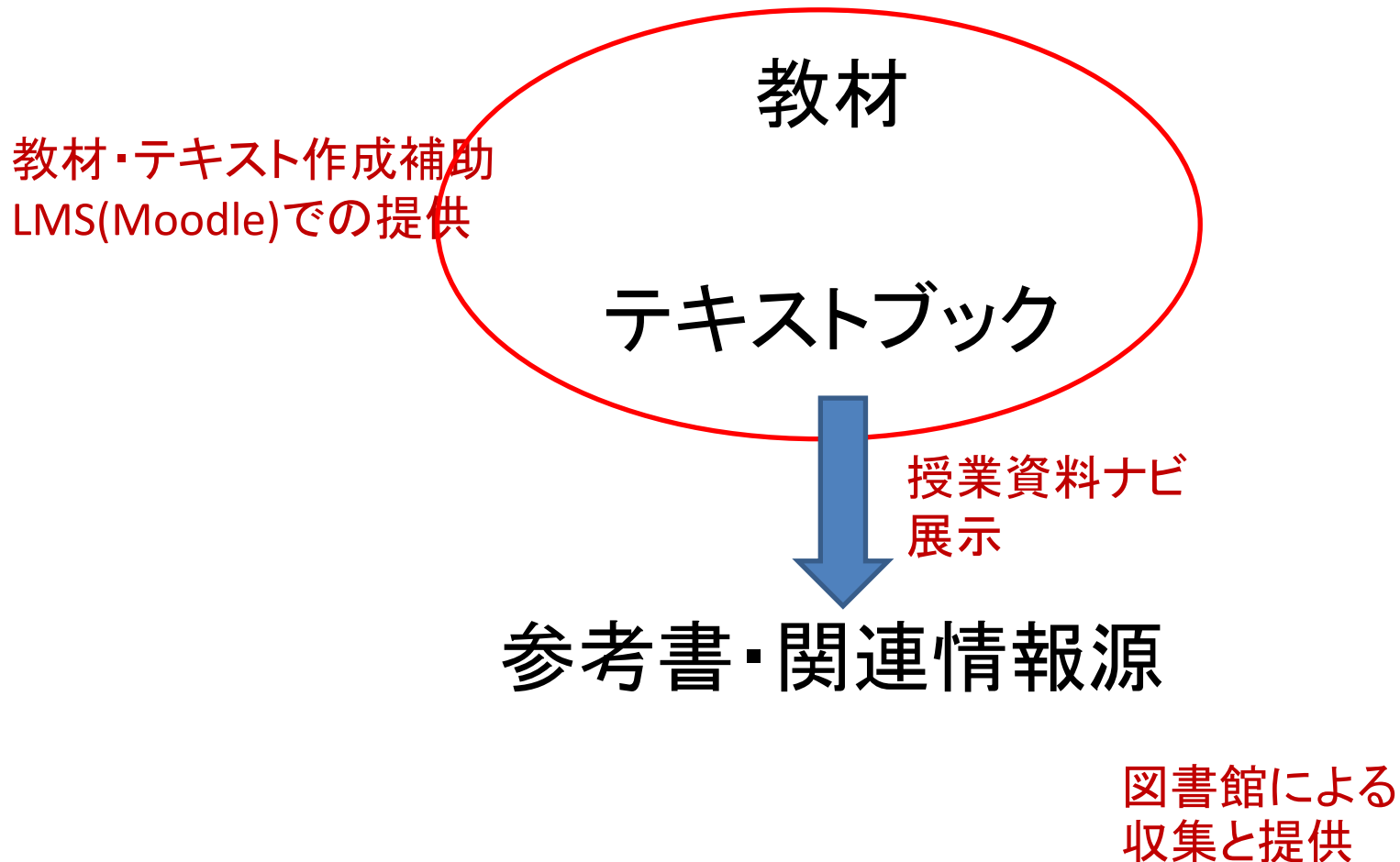
参考書・関連情報源

収集と提供

課題

- 教材のタイムリーな作成
- テキストブックの作成(選定)と適宜のアップデート
- 単一のプラットフォームでの提供
- 参考書・関連情報源の収集と提供
- 参考書・関連情報源への誘導

ALCの達成



成果と課題

- コンテンツ作成・提供の機会提供は達成
- 教員：従来のコンテンツからの移行のインセンティブをどう与えるか
- 著作権処理に代表される手続きの煩雑さをいかに軽減するか
- 学生：参考書，関連情報を活用した知的活動の楽しさをいかに知ってもらうか